

2022. 10. 21

2022年度第4回地創ハイク

[谷川岳天神尾根催行報告]

コロナ禍がやっと沈静化の兆しが見えてきましたので、この機会を捉えて紅葉が始まった日本100名山でもある美しい岩峰の谷川岳への催行を行いました。参加者は残念ながら4人だけでしたが楽しい山行になりました。

途中の交通機関でいろいろハプニングがありましたが、結果は予定通り天神平に立つことが出来ました。土合の駅の地獄の500階段の登りをパスしてロープウェイに乗り、リフトに乗り継いで眺望の天神平（1502m）に到着です。

到着した時は、眼前の朝日岳は頂上に雲がかかっていたのですが、やがて雲が取れ美しい山容が姿を見せてくれました。また、肝心の谷川岳ですが、双耳峰のトマの耳、オキの耳の鋭い岩峰が目前にそそり立ちます。頂上付近はちょっとガスがかかっていたのですが、それでもその迫力には圧倒されました。

のんびりと周辺の眺望を楽しんだ後、いよいよ谷川岳に向けてウオーキング開始です。岩だらけ、木の根っこだらけの下り坂を谷川岳登山道に向かって下りていきます。かなり険しい登山道を慎重に下りて行き、30分程で天神平駅からの登山道と合流です。周囲は紅葉が始まっており、赤く染まったナナカマドの葉が印象的でした。

さて、ここからが目的地の熊穴沢避難小屋に向っての登山です。岩だらけ、木の根っこだらけ、鎖場もある山道を進みます。ガイドブックでは30分程度と記載の道ですが、なんだかんだと言って4・50分かかって目的地の避難小屋に到着です。小屋からの眺望はありませんが、小屋は小さいながらしっかりした小屋です。今回はここで折り返しです。小屋の中でゆったりと昼食を取りました。小屋の周りは若い高校山岳部の部員で賑やかでした。

帰りは、ロープウェイの天神平駅に直行です。往きはそこそこ汗をかきながらの道でしたが、帰りはスムーズに道を進みます。40分程でロープウェイ駅です。下りのロープウェイの中で今回の山行の余韻を楽しみながら帰途に就きました。

谷川岳というとなんかとっても大変そうに見えますが、秋の紅葉シーズンも含めて、しっかりと深い自然を手軽に楽しめる山です。秋の1日、しっかりと秋を楽しめた山旅でした。のんびりとした秋を感じられる歩きでした。

次回の計画は未定ですが、湘南の秋を楽しむ催行にしたいと思っています。

催行日： 10月12日（水）

催行場所： 群馬県利根郡みなかみ町 谷川岳 1977m

交通： JR大宮 —(高崎線)— 高崎 —(上越新幹線)— 上毛高原 —
(バス)— ロープウェイ駅

コース： 天神平 —(リフト)— 天神峠 — 田尻尾根下山口 — 熊穴沢
避難小屋 — 天神平駅 歩行 約3時間

参加者： 4名

（コース概要）

①到着した天神平からの朝日岳全容



②天神平から上越国境の山々



③山頂が雲に覆われた谷川岳



④谷川岳山頂への道



⑤険しい山頂への道



⑥登山道からの谷川岳双耳峰



⑦熊穴沢避難小屋（ここで昼食）、帰途へ



⑧中々全貌をみせてくれなかった谷川岳



お疲れさまでした。

事務局 松島記